



「北大HOPS X 北海道新聞」共同シンポジウム

# スコットランド独立運動の教訓と これからの地域政治のゆくえ

The result of the independence referendum and the future of British politics

**2014年12月6日(土) 14:00-17:00 (開場13:30)**

報告者：ポール・ケアニー教授

(スターリング大学・スコットランド政治、公共政策)

討論者：新垣毅氏

(琉球新報編集委員)

志子田徹氏

(北海道新聞社ロンドン支局長)

司会者：山崎幹根教授 (北海道大学公共政策大学院・院長)

9月にスコットランドで行われたイギリスからの独立を問う住民投票は、反対が多数を占めたものの、予想外の展開となり、日本をはじめ世界的な注目を集めた。今回のシンポジウムでは、住民投票の経過と今後の展望について、そして、スコットランドの実践がもつ普遍的な意義について論じるとともに、本州の他地域とは異なる特性をもつ北海道と沖縄における今後の自治のありかたや地域づくりの方向性を展望する。

■会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟203(札幌市北区北9条西7丁目)

■言語：日本語・英語(逐次通訳つき)

■連絡先： Email [office@hops.hokudai.ac.jp](mailto:office@hops.hokudai.ac.jp) Tel 011-706-4723

■主催：北海道大学公共政策大学院・公共政策学研究センター/北海道新聞社

■共催：北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター/琉球新報社

入場無料  
どなたでも  
参加いただけ  
ます。

※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。